

東日本大震災復興支援プロジェクト

日本とオーストリアをつなぐ架け橋!! 誰もが喜びを実感することができる、参加する「第九コンサート」

# 第2回 UTAU DAIKU inウィーン

# 第九

*Sinfonie Nr. 9 d-moll op. 125*

会場：ウィーン楽友協会大ホール「黄金の間」

2015年3月3日 19:30開催

主催：一般社団法人世界音楽合唱チャリティー協会

後援：オーストリア大使館 在オーストリア日本国大使館 観光庁 特別協力：Künstlersekretariat Buchmann GmbH

# 日本人がつくった「参加する第九コンサート」

ベートーヴェンの交響曲第9番第4楽章「歓喜の歌」が日本の年末に盛んに演奏されるようになったのは、第二次大戦後のことでした。戦後の物資困難にあえぐ日本のオーケストラの年越しの資金確保の手立てとして、または労働者による音楽鑑賞運動の年末企画として毎年演奏されて人気を博し、平和推進運動の高まりとあいまって、平和・復興の象徴のような曲となったのです。

その結果、プロ、アマを問わず多くの合唱団が「第九」をレパートリーにとりあげ、はては「第九」を歌うための合唱団さえ生まれるようになりました。その象徴的イベントが1983年、大阪城ホール開館記念事業として行われた「サントリ

ー1万人の第九」です。一般公募で結成した1万人の合唱団に加えて、聴衆も部分的に参加した壮大なる「第九」の歓喜の歌が演奏されました。この後、全国各地で同様の大規模な参加型「第九」演奏会が継続的に開かれ、今日にいたっています。現在では、第九合唱ファンは20万人を数えます。

戦後、平和と復興の象徴として演奏された「第九」こそは、東日本大震災からの復興と再生を表現するためにふさわしい曲といえるでしょう。さらに、日本独自の「UTAU DAIKU 文化」を世界中の人と共有することで、新しい市民レベルでの参加型文化交流の象徴的イベントとしたいと願っています。

## チケット情報

チケット		インフォメーション
カテゴリー 1	EUR 30.-	<b>チケットはウィーン楽友協会で購入できます。</b> <b>Musikvereinsplatz 1, A-1010 Wien</b> <b>月～金 9:00-20:00, 土 9:00-13:00</b> <b>Tel: +43 1 505 81 90</b> <b>月～金 9:00-20:00, 土 9:00-13:00</b> <b>www.musikverein.at</b> <b>tickets@musikverein.at</b>
カテゴリー 2	EUR 25.-	
カテゴリー 3	EUR 20.-	
カテゴリー 4	EUR 15.-	
学生	EUR 13.-	
18歳以下の学生	EUR 8.-	

コンサート、出演者に関する詳細は [www.utau-daiku.jp](http://www.utau-daiku.jp) でご確認ください。

## 出演者紹介

日本からウィーンへと出向いた日本人150名以上で構成されている混声合唱団「**UTAU DAIKU コーラス**」こそ、このコンサートの中心であり主役。オーストリアに「歓喜の歌」への情熱を伝えたい合唱愛好家。

### ソリスト:

#### レギーネ・ハングラー <ソプラノ>

オーバーエスターライヒ州生まれのソプラノ歌手。教会でのミサ曲やオラトリオを頻繁に歌っているが、2013/14年のシーズンからウィーン国立歌劇場と契約。ザルツブルク音楽祭にも出演が決定している今後の躍進が期待される新進のソプラノ歌手である。

#### マリアーナ・リボヴシェック <メゾソプラノ>

世界のメゾ・ソプラノ歌手10人に必ず名が挙がる大歌手。スロヴェニアのリュブリアーナ出身。グラーツで声楽を学び、卒業と同時にウィーン国立歌劇場と契約。R.シュトラウス、ワーグナーのレパートリーでは、他の追随を許さないと定評がある。

#### 又吉 秀樹 <テノール>

東京都福生市出身。第40回イタリア声楽コンクールにて優勝、ミラノ大賞受賞。『ナブッコ』イズマエーレ役でイタリアデビューを果たし、イタリ

ア各地でリサイタルやオペラに出演。オペラ以外の分野でも、「第九」やミサ曲のソリストとして活躍。二期会会員。

#### 甲斐 栄次郎 <バリトン>

ニューヨークとポーロニアにおいての研鑽後、2003年から10年間にわたりウィーン国立歌劇場の専属ソリスト歌手として活躍。特にイタリア・オペラ作品において高い評価を得る。第九、ドイツ・レクイエム等のソリストとしても活躍。東京藝術大学准教授。聖徳大学客員教授。日本声楽アカデミー会員。二期会会員。

#### シュテファン・ヴラダー <指揮>

1965年ウィーン生まれ。ピアニストとしてキャリアを積み、数々の著名な指揮者の下、メジャー・オーケストラのソリストとしても活躍。指揮者としては、ウィーン交響楽団、ザルツブルクのモーツァルテウム管弦楽団、リンツのブルックナー管弦楽団、バンベルク交響楽団、デンマーク放送交響楽団などをゲストコンダクターとして指揮

し、2008年にウィーンカンマーオーケストラの芸術監督および首席指揮者に就任。

#### ウィーン少年合唱団

「天使の歌声」で知られるウィーン少年合唱団は、ウィーンで行われるオペラ、コンサート、王宮礼拝堂での日曜日のミサに出演するほか、年間9～11週間の公演ツアーに参加する。一年間に行われるコンサートは約300回、観客動員数は約50万人にも及ぶ。

#### ウィーンカンマーオーケストラ

【芸術監督:シュテファン・ヴラダー】

1946年創立。最近の首席指揮者にはフィリップ・アントルモン、エルンスト・コヴァッチ、クリストフ・エーベルレ、そしてハインリッヒ・シフが就任。2004年からは準ゲスト・コンダクターに服部譲二を迎えている。2006年にはシフ指揮によるベートーヴェンの交響曲全曲演奏が行われ好評を博した。



レギーネ・ハングラー



マリアーナ・リボヴシェック



又吉 秀樹



甲斐 栄次郎



シュテファン・ヴラダー



ウィーン少年合唱団



ウィーンカンマーオーケストラ